

10/19 朝日

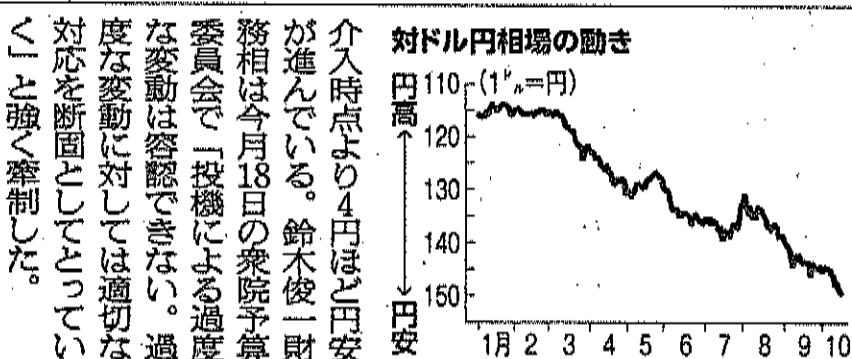
# 円下落 150円に迫る

## 一時149円台 再介入に警戒感

18日の東京外國為替市場で対ドルの円相場が一時1ドル=149円台に下落し、次の節目となる150円目前に迫った。円は13日に32年ぶりの安値水準となる147円台後半まで下がって以降、連日下落。政府は円安への牽制を強めていて、市場では政府・日本銀行による再度の為替介入への警戒感が強まっている。▼7

面II 「裏面介入」の臆測  
円相場は3月以降、34円も下落。物価高を抑えるために大幅な利上げを進める米国と、日銀が金融緩和で金利を低く抑える日本との間で金利差が拡大し、円を売って、金利が高く運用益が見込めるドルを賣ら動きが広がっている。

政府・日銀は1ドル=145円台をつけて9月22日、ドル売り円買いの為替介入を行った。ただ、直近では



(徳島慎也)